

研究名：心臓手術時に体表消毒用に使用した消毒薬の付着が原因と考えられる化学熱傷の経験と予防対策の課題

1. 研究の目的

消毒薬が皮膚に長時間付着すると重度の皮膚障害となる場合があります。心臓手術時に体表消毒用に使用した消毒薬の付着が原因と考えられる化学熱傷について、その特徴を明らかにし、予防対策の課題について検討することを目的とします。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2014年6月～2019年1月の期間において、当センターにて心臓手術に体表消毒用に使用した消毒薬の付着が原因と考えられる化学熱傷を生じた方。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年3月
- ③ 研究方法：研究対象者のカルテの診療情報から皮膚障害の特徴、治癒経過、皮膚障害を生じた状況を明らかにします。また、消毒薬による化学熱傷を予防するために行った手術室での対策を振り返り、今後の課題について検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、疾患名、消毒薬の付着が原因と考えられる化学熱傷を発生した際の術式・手術時間・麻酔時間・手術体位、皮膚障害の部位・治癒経過、消毒薬が関連する化学熱傷を防止するために行った対策実施前後の化学熱傷発生件数、等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報~~は調査対象ではなく~~、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究結果は学会発表や学術論文として公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、5月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 看護部 奥田裕美
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7162）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 看護部 奥田裕美